

米軍選定候補地

地区名	N-1地区	N-2地区	N-3地区	N-4地区	N-5地区	N-6地区	G地区	H地区	I地区	J地区	K地区	4地区
ヶ所数	2ヶ所 (N-1.2+ N-1.3)	-	-	2ヶ所 (既存に 設置) (N-4.1、 N-4.2)	-	-	2ヶ所 (G.2)	1ヶ所 (H.2)	-	-	-	7ヶ所

移設候補地

地区名	ヶ所数	調整内容	選定
N-1地区	2ヶ所 (N-1.2+ N-1.3)	米軍の運用上において、複数機によるヘリコプターの使用も含めた訓練の支援用として、2ヶ所を移設候補地として選定した。	○
N-2地区		-	×
N-3地区		-	×
N-4地区	2ヶ所 (既存に 設置) (N-4.1、 N-4.2)	米軍の運用上の要望もあり、既設着陸帯の区域であることから、環境への影響を少なくするため、地形の改変面積も極小化して設置することとし、既存着陸帯内に着陸帯を2ヶ所整備することとした。	○
N-5地区		-	×
N-6地区		-	×
G地区	1ヶ所 (G.1)	米軍から運用上、特に新規提供された水域における訓練も含め訓練及び兵士の救助を支援する目的で必ず必要との強い要望があった。日本側は専門家の現地踏査による意見等を踏まえ、より自然環境に与える影響が少なくなるよう米軍と調整し、当初米軍要望の着陸帯2ヶ所を1ヶ所の着陸帯とし着陸帯の造成規模を縮小するとともに、進入路を既存の道路を利用しつつ未舗装あるいは砂利舗装等、環境影響を最小限に止める構造とすることとし、1ヶ所を移設候補地として選定した。	○
H地区	1ヶ所 (H.2)	米軍の運用上の要望もあり、他の移設候補地と比べて環境影響が小さいことから、1ヶ所を移設候補地として選定した。	○
I地区		-	×
J地区		-	×
K地区		-	×
新設 3地区	4ヶ所	-	-
設置※ 1地区	2ヶ所	-	-

※既存のヘリコプター着陸帯に設置し2ヶ所の着陸帯を整備

○：選定 ×：非選定